

和歌山県鉱工業生産指数 平成 27 年（2015 年）基準改定の概要

和歌山県企画部企画政策局調査統計課

1 改定の趣旨

鉱工業生産指数については、「指数の基準時に関する統計基準」（平成 22 年 3 月統計基準設定）において「指数の基準時は、5 年ごとに更新することとし、西暦の年数の末尾が 0 又は 5 である年とする」とされていることから、本県もこれに合わせて平成 22 年（2010 年）から 5 年後の平成 27 年（2015 年）を新たな基準とし、ウェイトや採用品目の見直しを行いました。

2 基準年次

平成 27 年を基準年次とします。したがって、指数値は平成 27 年の年平均を 100.0 とした比率で示され、ウェイトは平成 27 年の産業構造によります。

3 改定の主な内容

平成 27 年基準指数の業種分類は、原則として日本標準産業分類（第 13 回改定）（平成 25 年 10 月統計基準設定）に準拠しました。

業種分類に基づき、利用の便宜上、若干の組替を行っています。総合指数は鉱業を除く「製造工業」とし、全 13 業種に分類しました。

I. 「はん用・生産用・業務用機械工業」を「汎用・業務用機械工業」と「生産用機械工業」に分割しました。

II. 「電気機械工業」を「電子部品・デバイス工業」と「電気・情報通信機械工業」に分割しました。

III. 「鉄鋼業」、「非鉄金属工業」を「鉄鋼・非鉄金属工業」に統合しました。

IV. 「繊維工業」を「その他工業」に編入しました。

4 採用品目

「経済産業省生産動態統計」等を基に継続的な調査データを得られる品目について、代表性、重要性等を考慮した結果、157 品目（参考 3 品目を含む）を選定しました。

5 ウェイト

付加価値額ウェイトを採用し、製造工業全体を 10,000 とした構成比で表しています。業種別のウェイトは、経済センサス-活動調査を基礎データとして、指数の業種分類・概念に適合するよう組替えを行ったうえで算定を行いました。

また、品目別のウェイトは、経済センサスや工業統計のほか経済産業省生産動態統計

や各種業界統計などにより単価・金額等を推計し、業種別のウェイトを採用品目の金額構成比により按分しました。

6 季節調整

米国商務省センサス局法 X-12-ARIMA (X-11 デフォルト) を用いています。

7 新基準への切換え時期と改定結果

平成 27 年基準による指数値へは、令和元年 7 月速報分から切り替えを行います。過去系列は、平成 25 年 (2013 年) 1 月以降について新基準による系列を作成しました。

また、平成 20 年 1 月～平成 24 年 12 月までについては、旧基準指数にリンク係数を乗じて、便宜的に平成 22 年基準に接続できます。

$$\text{リンク係数} = \frac{\text{平成 27 年基準の平成 25 年 1~3 月平均季節調整済指数}}{\text{平成 22 年基準の平成 25 年 1~3 月平均季節調整済指数}}$$

新旧基準の業種別付加価値額ウェイト及び採用品目数の比較業種分類新旧表

業種分類名	付加価値額ウェイト			採用品目数		
	2015年 (平成27年)	2010年 (平成22年)	増減差	2015年 (平成27年)	2010年 (平成22年)	増減差
製造工業	10,000.0	10,000.0		154	149	5
鉄鋼・非鉄金属工業	1582.0	1924.2	▲ 342.2	24	25	▲ 1
鉄鋼業	1536.5	1869.3	▲ 332.8	19	22	▲ 3
非鉄金属工業	45.5	54.9	▲ 9.4	5	3	2
金属製品工業	355.9	489.4	▲ 133.5	6	6	0
生産用機械工業	756.2	534.8	221.4	5	4	1
汎用・業務用機械工業	2197.8	2363.8	▲ 166.0	13	9	4
汎用機械工業	2107.2	2183.1	▲ 75.9	11	7	4
業務用機械工業	90.6	180.7	▲ 90.1	2	2	0
電子部品・デバイス工業	138.2	258.4	▲ 120.2	3	2	1
電気・情報通信機械工業	118.4	102.1	16.3	3	3	0
窯業・土石製品工業	274.7	144.5	130.2	7	7	0
化学工業	2411.7	2293.1	118.6	40	40	0
無機・有機化学工業	753.4	636.2	117.2	23	24	▲ 1
化学工業(除、無機・有機化学工業)	1658.3	1656.9	1.4	17	16	1
石油・石炭製品工業	742.6	586.9	155.7	15	15	0
プラスチック製品工業	336.9	328.7	8.2	6	5	1
パルプ・紙・紙加工品工業	64.4	67.9	▲ 3.5	2	3	▲ 1
食料品工業	293.5	281.0	12.5	5	6	▲ 1
その他工業	727.7	625.2	102.5	25	24	1
繊維工業	408.9	303.9	105.0	16	14	2
木材・木製品工業	83.9	82.3	1.6	1	1	0
家具工業	53.8	41.5	12.3	3	3	0
ゴム製品工業	119.5	146.1	▲ 26.6	3	3	0
皮革製品工業	7.0	7.4	▲ 0.4	1	2	▲ 1
その他製品工業	54.6	44.0	10.6	1	1	0
(参考)公益事業	232.5	540.6	▲ 308.1	3	3	0
(参考)産業総合	10232.5	10540.6	▲ 308.1	157	152	5
(参考)機械工業	3210.6	3259.1	▲ 48.5	24	18	6
(参考)汎用・生産用・業務用機械工業	2954.0	2898.6	55.4	18	13	5
(参考)電気機械工業	256.6	360.5	▲ 103.9	6	5	1

機械工業：生産用機械工業、汎用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
 電気機械工業：電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業

新規採用品目及び廃止品目

	H22年基準 (廃止12)	H27年基準 (新規17)
鉄鋼・非鉄金属工業	普通鋼 冷間仕上鋼材 磨帯鋼 めっき鋼材 亜鉛めっき鋼板 その他の金属めっき鋼板	銅絶縁電線 その他の絶縁電線 ダイカスト アルミニウム
生産用機械工業	—	個装・内装機械
汎用・業務用機械工業	エアコンセパレート形 室外ユニット エアコンセパレート形 室内ユニット	エアコンセパレート形 室外ユニット (7.1kW以上) エアコンセパレート形 室内ユニット (4.0kW未満) エアコンセパレート形 室内ユニット (4.0kW以上7.1kW未満) エアコンセパレート形 室内ユニット (7.1kW以上) ショーケース冷凍機内蔵型 歯車
電子部品・デバイス工業	電子回路基板	電子回路基板 片面フレキシブル配線板 電子回路基板 両面・多層フレキシブル配線板
化学工業	溶解アセチレン 不飽和ポリエステル樹脂	液体窒素 漂白剤酸素系
プラスチック製品工業	プラスチック製品 日用品・雑貨	プラスチック製品 日用品・雑貨 ボタン プラスチック製品 日用品・雑貨 その他の容器
パルプ・紙・紙加工品工業	紙製品	—
食料品工業	生菓子	—
その他の工業	クロム皮革 成牛(枚)	毛織物 そ毛 タオル

業種分類の新旧比較

H27基準	備考	H22基準
製造工業		製造工業
鉄鋼・非鉄金属工業	中分類の新設 (鉄鋼業+非鉄金属工業)	鉄鋼業
鉄鋼業	小分類として編入	非鉄金属工業
非鉄金属工業	小分類として編入	金属製品工業
金属製品工業		はん用・生産用・業務用機械工業
生産用機械工業	小分類から中分類へ格上げ	生産用機械工業
汎用・業務用機械工業	「はん用・生産用・業務用機械工業」 - 「生産用機械工業」	はん用機械工業
汎用機械工業	名称変更	業務用機械工業
業務用機械工業		電気機械工業
電子部品・デバイス工業	中分類の新設	
電気・情報通信機械工業	中分類の新設 (電気機械工業+情報通信機械工業)	窯業・土石製品工業
窯業・土石製品工業		化学工業
化学工業		
無機・有機化学工業	小分類の新設	
化学工業 (除.無機・有機化学工業)	小分類の新設	
石油・石炭製品工業		石油・石炭製品工業
プラスチック製品工業		プラスチック製品工業
パルプ・紙・紙加工品工業		パルプ・紙・紙加工品工業
食料品工業		食料品工業
その他工業		その他工業
繊維工業	小分類として編入	繊維工業 (平成22年基準では中分類)
木材・木製品工業		木材・木製品工業
家具工業		家具工業
印刷業		印刷業
ゴム製品工業		ゴム製品工業
皮革製品工業		皮革製品工業
その他製品工業		その他製品工業